

## 分子治療学分野

### A 欧文

#### A-a

1. Dewan MZ, Uchihara J, Terashima K, Honda M, Sata T, Ito M, Fujii N, Uozumi K, Tsukasaki K, Tomonaga M, Kubuki Y, Okayama A, Toi M, Mori N, Yamamoto N: Efficient intervention of growth and infiltration of primary adult T-cell leukemia cells by an HIV protease inhibitor, ritonavir. *Blood* 107 (2): 716-724, 2006 (IF: 10.131)
2. Hasegawa H, Yamada Y, Komiyama K, Hayashi M, Ishibashi M, Yoshida T, Sakai T, Koyano T, Kam TS, Murata K, Sugahara K, Tsuruda K, Akamatsu N, Tsukasaki K, Masuda M, Takasu N, Kamihira S: Dihydroflavonol BB-1, an extract of natural plant *Blumea balsamifera*, abrogates TRAIL resistance in leukemia cells. *Blood* 107 (2): 679-688, 2006 (IF: 10.131)
3. Inoue Y, Tsushima H, Ando K, Sawayama Y, Sakai M, Yamasaki R, Matsuo E, Tsutsumi C, Imaizumi Y, Iwanaga M, Imanishi D, Taguchi J, Miyazaki Y, Tomonaga M: Chemokine expression in human erythroid leukemia cell line AS-E2: macrophage inflammatory protein-3 $\alpha$ /CCL20 is induced by inflammatory cytokines. *Exp Hematol* 34 (1): 19-26, 2006 (IF: 4.019)
4. Yanada M, Takeuchi J, Sugiura I, Akiyama H, Usui N, Yagasaki F, Kobayashi T, Ueda Y, Takeuchi M, Miyawaki S, Maruta A, Emi N, Miyazaki Y, Ohtake S, Jinnai I, Matsuo K, Naoe T, Ohno R: High complete remission rate and promising outcome by combination of imatinib and chemotherapy for newly diagnosed BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia: a phase II study by the Japan Adult Leukemia Study Group. *J Clin Oncol* 24 (3): 460-466, 2006 (IF: 11.810)
5. Tsukasaki K, Lohr D, Sugahara K, Kamihira S, Tomonaga M, Bartram CR, Jauch A: Comparative genomic hybridization analysis of Japanese B-cell chronic lymphocytic leukemia: correlation with clinical course. *Leuk Lymphoma* 47 (2): 261-266, 2006 (IF: 1.295)
6. Tawara M, Hogerzeil SJ, Yamada Y, Takasaki Y, Soda H, Hasegawa H, Murata K, Ikeda S, Imaizumi Y, Sugahara K, Tsuruda K, Tsukasaki K, Tomonaga M, Hirakata Y, Kamihira S: Impact of p53 aberration on the progression of Adult T-cell Leukemia/Lymphoma. *Cancer Lett* 234 (2): 249-255, 2006 (IF: 3.049)
7. Taguchi J, Miyazaki Y, Tsutsumi C, Sawayama Y, Ando K, Tsushima H, Fukushima T, Hata T, Yoshida S, Kuriyama K, Honda S, Jinnai I, Mano H, Tomonaga M: Expression of the myeloperoxidase gene in AC133 positive leukemia cells relates to the prognosis of acute myeloid leukemia. *Leuk Res* 30 (9): 1105-1112, 2006 (IF: 2.372)
8. Harasawa H, Yamada Y, Hieshima K, Jin Z, Nakayama T, Yoshie O, Shimizu K, Hasegawa H, Hayashi T, Imaizumi Y, Ikeda S, Soda H, Soda H, Atogami S, Takasaki Y, Tsukasaki K, Tomonaga M, Murata K, Sugahara K, Tsuruda K, Kamihira S: Survey of chemokine receptor expression reveals frequent co-expression of skin-homing CCR4 and CCR10 in adult T-cell leukemia/lymphoma. *Leuk Lymphoma* 47 (10): 2163-2173, 2006 (IF: 1.295)

### B 邦文

#### B-a

1. 横田賢一, 三根真理子, 近藤久義, 本田純久, 朝長万左男, 田川眞須子, 柴田義貞: 長崎原爆被爆者の健診受診行動. *広島医学* 59(4): 315-317, 2006
2. 松田 晃, 陣内逸郎, 岩永正子, 別所正美, 朝長万左男: 不応性貧血の臨床的特徴に関する日独比較. *血液・腫瘍科* 52(4): 428-434, 2006
3. 尾坂明美, 鶴田一人, 上村明希子, 濱崎典子, 本村裕実子, 山本梨恵, 菅原和行, 山田恭暉, 吉岡 朗, 長井一浩, 岩永正子, 朝長万左男, 上平 憲: HLA-DR 陰性の急性骨髄性白血病における cup-like nuclear morphology の特性. *日本検査血液学会雑誌* 7(2): 256-263, 2006
4. 朝長万左男, 松丸一朗, 江石清行, 長井一浩: 自家骨髄細胞による末梢血管再生医療の開発研究. *放射線科学* 49(7): 222-224, 2006
5. 松丸一朗, 江石清行, 山近史郎, 山口博一郎, 多田誠一, 山根健太郎, 泉 賢太, 高井秀明, 谷川和好, 小野原大介, 長井一浩, 上平 憲, 宮崎泰司, 福島卓也, 朝長万左男: 自家骨髄単核球細胞移植を施行した Buerger 病の 2 例 - 当院に於ける再建不可能な虚血下肢への血管新生療法 (再生医療) 導入の試み - . *長崎医学会雑誌* 81(3): 111-114, 2006
6. 薦田みのり, 藤本健志, 川口康久, 對馬秀樹, 福島卓也, 波多智子, 宮崎泰司, 塚崎邦弘, 朝長万左男: 急性型特発性血小板減少性紫斑病類似の臨床像を呈した三日熱マラリア. *臨床血液* 47(11): 1453-1456, 2006
7. 塚崎邦弘: 成人 T 細胞白血病/リンパ腫 (ATLL) における微小残存病変 (MRD) 検査法の臨床応用についての研究. *Medical Science Digest* 32(12): 546-549, 2006

#### B-b

1. 塚崎邦弘: 【特集 造血器腫瘍の治療 up-date-Evidence に基づく治療戦略】成人 T 細胞白血病リンパ腫. *血液・腫瘍科* 52(1): 72-78, 2006
2. 内山 卓, 朝長万左男, 大屋敷一馬, 三谷絹子, 通山 薫, 上田孝典, 大西一功, 小川誠司, 木村昭郎, 小澤敬也,

谷本光音, 中畑龍俊, 堀田知光, 村手 隆, 小峰光博, 不応性貧血(骨髓異形成症候群)の診断基準と診療参照ガイド作成のためのワーキンググループ: 不応性貧血(骨髓異形成症候群)診療の参照ガイド. 臨床血液 47(1): 47-68, 2006

4. 朝長万左男: 特集/白血病・MDS の分子病態から分子治療まで研究の最先端を探る 序文 .(「分子細胞治療」編集委員会(編): 分子細胞治療, 先端医学社, 東京, 5(1) pp.1-2 所収) 2006
5. 宮崎泰司: 特集/白血病・MDS の分子病態から分子治療まで研究の最先端を探る MDS に対する新規分子標的薬開発の現状と問題点 .(「分子細胞治療」編集委員会(編): 分子細胞治療, 先端医学社, 東京, 5(1) pp.53-59 所収) 2006
6. 朝長万左男: 文献紹介【特集/白血病・MDS の分子病態から分子治療まで研究の最先端を探るより】白血病幹細胞とがん幹細胞研究の展開 .(「分子細胞治療」編集委員会(編): 分子細胞治療, 先端医学社, 東京, 5(1) pp.92-93 所収) 2006
7. 宮崎泰司: 身近な話題・世界の話題 ETS 関連遺伝子 MEF の造血細胞における最近の話題 .血液フロンティア 16(3): 440-444, 2006
8. 塚崎邦弘:【特集 T 細胞腫瘍と NK 細胞腫瘍研究の最近の進展】JCOG による ATLL 治療研究の総括と今後の課題 .血液・腫瘍科 52(2): 128-133, 2006
9. 福島卓也:【特集 T 細胞腫瘍と NK 細胞腫瘍研究の最近の進展】ATLL に対する conventional conditioning を用いた同種造血幹細胞移植の現状と課題 .血液・腫瘍科 52(2): 142-147, 2006
10. 朝長万左男: 「血液病」のわかりやすい診断法 1 貧血を中心に .日本醫事新報 No.4267: 33-36, 2006
11. 塚崎邦弘: 造血器腫瘍の検査 検査と臨床の対話 臨床が求める検査情報 実際の活用と問題点 .日本検査血液学会雑誌 7(1): 187-193, 2006
12. 宮崎泰司, 朝長万左男:【特集 難治性貧血 分子病態と治療戦略】骨髓異形成症候群に対する新規治療法 .最新医学 61(3): 406-412, 2006
13. 朝長万左男: 「血液病」のわかりやすい診断法 2 白血球異常から考える(前編) .日本醫事新報 No.4271: 33-36, 2006
14. 朝長万左男: 「血液病」のわかりやすい診断法 3 白血球異常から考える(後編) .日本醫事新報 No.4272: 33-36, 2006
15. 朝長万左男: 原子爆弾後障害研究の将来の展望 - これからの 10 年間に期待される成果 - 血液疾患のリスク - 白血病・MDS・多発性骨髓腫 - .広島医学 59(4): 302-306, 2006
16. 波多智子, 朝長万左男:【がん薬物療法の最前線】各種がんに対する薬物療法 - 血液がん 白血病の分子標的療法 .臨床と研究 83(5): 695-698, 2006
17. 朝長万左男: 半世紀を経てなお続く原爆の人体影響 . 共済エグゼミネーター通信 18 号: 11-37, 2006
18. 波多智子: 血液腫瘍の診断法 細胞形態学的診断 .Medicina 43(7): 1079-1080, 2006
19. 宮崎泰司: 成人白血病: Japan Adult Leukemia Study Group 研究の現状 . 臨床血液 47(7): 579-86, 2006
20. 朝長万左男:【骨髓異形成症候群(MDS)の病態と治療の進歩】MDS 研究と治療のターニングポイント 2006 .血液フロンティア 16(8): 1153-1156, 2006
21. 朝長万左男: 特集 骨髓異形成症候群(MDS): 病態の解明と最新の診療 MDS - 診断と分類・鑑別すべき病態 .血液・腫瘍科 53(2): 115-119, 2006
22. 栗山一孝, 波多智子, 宮崎泰司: AML/MDS の細胞形態学 . 臨床血液 47(8): 701-709, 2006

#### B-c

1. 朝長万左男: 骨髓異形成症候群(MDS) .(浅野茂隆, 池田康夫, 内山 孝(監修): 三輪血液病学 第3版, 文光堂, 東京, pp.925-943 所収) 2006
2. 宮崎泰司, 朝長万左男: 第1章 概念・分類と疫学 概念と分類 .(大野竜三(編): 最新医学別冊 新しい診断と治療のABC36 急性白血病 血液4, 最新医学社, 大阪, pp.9-19 所収) 2006
3. 塚崎邦弘: 第5章 治療ガイドライン ガイドライン (大野竜三(編): 最新医学別冊 新しい診断と治療のABC36 急性白血病 血液4, 最新医学社, 大阪, pp. 249-255 所収) 2006
4. 朝長万左男: 第55回パグウォッシュ会議 年次大会(広島)報告 .長崎平和研究 第21号: 31-44, 2006
5. 朝長万左男: .染色体異常の臨床 1.[解説]WHO分類: 造血・リンパ組織の腫瘍 - 疾患単位と染色体異常 - .(イラスト解説 WHO分類; 造血・リンパ組織の腫瘍) (朝長万左男(編): 染色体異常の基礎と臨床, 医薬ジャーナル社, 大阪, pp.48-75 所収) 2006
6. 朝長万左男: 2.血液疾患のリスク - 白血病・MDS・多発性骨髓腫 .第46回原子爆弾後障害研究会講演集, 10-14, 2006
7. 塚崎邦弘: II-1, 2 悪性リンパ腫 .(押味和夫, ほか(編): 造血器腫瘍治療 - これは困ったぞ、どうしよう! - .中外医学社, 東京, pp.132-137 所収) 2006
8. 朝長万左男:【XI.血液・造血器疾患】10.急性白血病 .(金澤一郎, 北原光夫, 山口 徹, 小俣政男(編): 内科学, 医学書院, 東京, pp.1972-1982 所収) 2006

9. 塚崎邦弘：49.リンパ増殖性疾患 3)慢性リンパ性白血病と類縁疾患。(日本臨床腫瘍学会(編)：新臨床腫瘍学(がん薬物療法専門医のために)，南江堂，東京，pp.641-645 所収) 2006
10. 対馬秀樹，朝長万左男：【最新臨床検査のABC】検査項目各論 血液・凝固・線溶系検査 骨髓像。日本医師会雑誌 135 特別 2：S68-S70, 2006
11. 宮崎泰司，朝長万左男：4 血液・造血器疾患 [2] 白血病疾患。(北村 聖(編)：臨床病態学，ヌーヴェルヒロカワ，東京，pp.609-613, 615-618 所収) 2006
12. 塚崎邦弘，朝長万左男：4 血液・造血器疾患 [2] 白血病疾患。(北村 聖(編)：臨床病態学，ヌーヴェルヒロカワ，東京，pp.613-615, 617-620 所収) 2006

B-d

1. 宮崎泰司，本田純久：データマネージメントと病型の中央診断に関する研究(宮崎)，症例数の推計・統計解析と登録用サーバーの管理(本田)。厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究(主任研究者：大野竜三) 平成 17 年度総括・分担研究報告書，pp.46-50, 2006
2. 朝長万左男：原爆被爆者に発症した造血器腫瘍の疫学・分子疫学的研究。原爆症に関する調査研究 共同研究課題 2 原爆被爆者の骨髓・免疫異常の発生に関する分子生物学的研究 長崎班総括研究報告書，平成 17 年度厚生労働省委託事業 原爆症調査研究事業報告書，(財)日本公衆衛生協会，pp.46-53, 2006
3. 朝長万左男，岩永正子：原爆被爆者に発症した骨髓異形成症候群・多発性骨髓腫の疫学研究。原爆症に関する調査研究 共同研究課題 2 原爆被爆者の骨髓・免疫異境の発生に関する分子生物学的研究分担研究報告書，平成 17 年度厚生労働省委託事業 原爆症調査研究事業報告書，(財)日本公衆衛生協会，pp.68-73, 2006
4. 宮崎泰司：原爆被爆者に発症した慢性骨髓性白血病の分子生物学的に解析に関する研究。原爆症に関する調査研究 共同研究課題 2 原爆被爆者の骨髓・免疫異境の発生に関する分子生物学的研究分担報告書，平成 17 年度厚生労働省委託事業 原爆症調査研究事業報告書，(財)日本公衆衛生協会，pp.74-77, 2006
5. 小峰光博，金倉 謙，西村純一，木下タロウ，井上徳光，金丸昭久，七島 勉，中熊秀喜，川口辰哉，中尾真二，朝長万左男，小島勢二，寺村正尚，二宮治彦，厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業特発性造血障害に関する調査研究班：発行性夜間ヘモグロビン尿症診療の参照ガイド。臨床血液 47(3): 215-239, 2006
6. 朝長万左男：難治性悪性リンパ腫に対する分子標的治療薬を用いた薬物療法の研究。厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)難治性悪性リンパ腫の治療に関する研究(主任研究者：飛内賢正) 平成 17 年度 総括・分担研究報告書，pp.35-41, 2006
7. 朝長万左男：MDS の形態診断基準の確立に関する研究。厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)特発性造血障害に関する調査研究(主任研究者：小澤敬也) 平成 17 年度 総括・分担研究報告書，pp.31-35, 2006
8. 直江知樹，吉田 均，黒川峰夫，宮崎泰司，大西一功，大屋敷一馬，横澤敏也：15-4 成人難治性白血病の分子生物学的特徴に基づく治療法に関する研究(主任研究者：直江知樹) 平成 17 年度 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集，pp.132-135, 2006
9. 大津 敦，塚崎邦弘，中西幸浩，西尾和人，小澤壯治，山本精一郎，大野真司：17-19 臨床試験登録患者検体の有効利用に関する研究(主任研究者：大津 敦) 平成 17 年度 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集，pp.437-441, 2006
10. 堀田知光，飛内賢正，中田匡信，森島泰雄，木下朝博，上田龍三，山口素子，鈴木孝世，朝長万左男，青儀健二郎，井上賢一，南 博信，山本尚人，藤原康弘，増田慎三，嘉村敏治，吉川裕之，笠松高弘：17 指-1 高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究(主任研究者：堀田知光) 平成 17 年度 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集，pp.536-543, 2006

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	0	13	4	1	21

## 社会活動

氏名	委員会等名	関係機関名
朝長万左男	福祉審議会委員	長崎県
朝長万左男	長崎原爆被爆者対策協議会理事	長崎市
朝長万左男	長崎平和推進会理事(副理事長)	長崎市
朝長万左男	被爆地域(健康診断特例区域)拡大に係る事業検討会委員	長崎市
朝長万左男	顧問	(財)放射線影響研究所
朝長万左男	被爆二世健康影響調査科学委員会委員	(財)放射線影響研究所
朝長万左男	セミパラチンスク健康影響調査検討委員会委員	(財)放射線影響協会
朝長万左男	原子力安全委員会「健康管理検討委員会」専門委員	内閣府
朝長万左男	原子力安全委員会「原子力発電所等周辺防災対策専門部会緊急時医療検討ワーキンググループ」専門委員	内閣府
朝長万左男	特定疾患対策協議会委員	長崎県
朝長万左男	科学研究費委員会専門委員	日本学術振興会
塚崎邦弘	長崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員	長崎県
宮崎泰司	移植施設責任者	骨髄移植推進財団
宮崎泰司	調整医師	骨髄移植推進財団
宮崎泰司	九州地区代表医師	骨髄移植推進財団
宮崎泰司	社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員	長崎県
波多智子	調整医師	骨髄移植推進財団
福島卓也	調整医師	骨髄移植推進財団
波多智子	夜間急患センター運営協議会委員	長崎市
今西大介	調整医師	骨髄移植推進財団

## 外部資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	外部資金提供元	代表・分担	研究題目
朝長万左男 ・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業) 難治性悪性リンパ腫の治療に関する研究
朝長万左男 ・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 特発性造血障害に関する調査研究
朝長万左男 ・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業) 成人 T 細胞性白血病(ATL)をモデルとしたウイルス感染関連がんに対する革新的治療法の開発
朝長万左男 ・教授	国立がんセンター	分担	厚生労働省がん研究助成金 高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究
塚崎邦弘 ・助教授	国立がんセンター	分担	厚生労働省がん研究助成金 血液悪性腫瘍に対する臨床試験登録患者検体の有効利用システムの確立
宮崎泰司・講師	国立がんセンター	分担	厚生労働省がん研究助成金 成人難治性白血病の分子生物学的特徴に基づく治療法に関する研究
朝長万左男 ・教授	(財)公衆衛生協会	分担	原爆症調査研究班研究委託費 原爆被爆者の骨髄・免疫異常の発生に関する分子生物学的研究
宮崎泰司・講師	(財)公衆衛生協会	分担	原爆症調査研究班研究委託費 共同研究課題：原爆被爆者の骨髄・免疫異常の発生に関する分子生物学的研究
朝長万左男 ・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 不応性貧血の臨床特性における民族差に関する日独中国国際比較研究
朝長万左男 ・教授	グラクソ・スミスクライン(株)	代表	In vitro 試験における成人 T 細胞白血病患者由来の白血病に対する nalarabine の細胞障害活性の検討
塚崎邦弘 ・助教授	ノバルティスファーマ(株)	代表	Primary ATLL 細胞および ATLL 由来細胞株に対する LBH589 の細胞毒性の検討
塚崎邦弘 ・助教授	協和発酵工業(株)	代表	成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATL)における微小残存病変(MRD)検査法の臨床応用についての第 2 次研究

## その他

### 非常勤講師等

氏名・職	職・担当科目等	関係機関名
今西大介・助手	非常勤講師（血液学）	長崎市医師会看護専門学校
今西大介・助手	非常勤講師（血液学）	九州医療技術専門学校

### 新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
朝長万左男 ・教授	放射線分野の協力協定	毎日新聞	2006年 1月25日	長崎大学・放医研間の放射線分野の協力協定
塚崎邦弘 ・助教授	ベラルーシ医科大との遠隔講義	長崎新聞 読売新聞	2006年 4月22日	ベラルーシ国立ゴメリ医科大とインターネット回線を使った遠隔講義について
朝長万左男 ・教授	ベラルーシ調印式	NHK もってこい長崎 報道センター NBC	2006年 7月25日	ベラルーシ大との調印式について
朝長万左男 ・教授	ポスト COE	長崎新聞	2006年 7月27日	2007年度からのポスト COE への応募について記者会見を開いた
朝長万左男 ・教授	放射線医療科学国際コンソーシアム	長崎新聞 毎日新聞 西日本新聞 NHK もってこい長崎 報道センター NBC	2006年 7月26日 2006年 7月27日	2006年7月26、27日に行われた COE 放射線医療科学国際コンソーシアムで活動報告を行った
朝長万左男 ・教授	原爆医療	報道センター NBC	2006年 8月2日	原爆医療について(白血病、MDS)
朝長万左男 ・教授	被爆者医療	西日本新聞	2006年 8月6日	長崎大学原研内科における被爆者医療について
朝長万左男 ・教授	放射線分野の教育研究に関する協定	長崎新聞 毎日新聞 NHK 長崎	2006年 11月11日	長崎大学・放影研の放射線分野の教育研究に関する協定調印式について